三鷹市山本有三記念館館報

Yuzo Yamamoto Memorial Museum Report

第 21 号 2020年9月

三鷹市山本有三記念館企画展



日本少国民文庫



が灯したもの

令和2年9月12日(土) 令和2年9月12日(土) ~令和3年3月7日(日)

誌が見当たらない、ということでした。長期にある子どもに読ませるふさわしい本や雑してある問題に直面します。それは、心身の成年、山本有三 [1887-1974] は、父親と年、山本有三 [1887-1974] は、父親と

外ではありませんでした。ばし、それは子ども向けの読み物においても例義に傾いた大衆的な雑誌が大きく出版部数を伸当時、経済恐慌による不況を背景に、商業主

刊を余儀なくされていきました。
子ども向け雑誌の多くが淘汰され、相次いで廃多い叢書が競い合うように出版されたことで、多の光書が競い合うように出版されたことで、がでいるで、大正末期から昭和初期にかけて起

昭和10年の「文藝春秋」に掲載された座談会

これでで。 といふ事をいひたい。」(*!)という問題を提起しは、「実際、私は声を大にして子供の雑誌がない「子弟の教育を如何にすべきか」において、有三

直ぐに延びていつて貰はなければ困るよ。(*3)年のいかない子供達だけは、何とか大きく真つてしまつた大人は何をいつても仕方がない。もう固まをしよつてたつ人たちぢやないか。もう固まあの年頃の子供たちこそ、これからの日本

かりました。 をわち、『日本少国民文庫』発刊の準備に取り掛ると、直ちに子どもたちのための新しい本、する三は、新潮社に企画を持ち込み、賛意を得

*

者としてスカウトしています。はこだわらず、自らが見込んだ後進たちを編集発刊にあたり、有三は、児童書の編集経験に

退社したばかりの石井桃子、明治大学文芸科で中であった吉野源三郎を筆頭に、文藝春秋社を動への接近によって治安維持法に抵触し、失職長く哲学を学んだ経歴を持つも、社会主義運

られました。たちが『日本少国民文庫』の編集者として集め教鞭をとる吉田甲子太郎ら、才気あふれる人物

者たちも数多く加わりました。 原純などの各分野の第一人者のほか、新進の学原純などは劇作家の岸田國士、物理学者の石

石井は後年振り返っています。(*4)楽しいんだ」と思った、と、編集者の一人である風発、「知的な人たちが自由に話すと、こんなに編集者・執筆者が一堂に会しての会議は談論

が決められました。『日本少国民文庫』は、「人類の進歩」という共通『日本少国民文庫』は、「人類の進歩」という共通

を重ねながら読み継がれていきました。
民文庫』はたちまち好評を博し、戦後まで改訂
民文庫』はたちまち好評を博し、戦後まで改訂
は来上がった叢書は、恩地孝四郎の上品な装

意義を探ります。本少国民文庫』の魅力と、同時代におけるその本少国民文庫』の魅力と、同時代におけるその本少国民文庫」の魅力と、同時代におけるその本といった表題作とともに当時の子ど生きるか」といった表題作とともに当時の子ど

れば幸いです。 (文芸企画員・学芸員(三浦穂高)たちとの交流から生まれた本書への理解が深ま入りを重ねたこの「三鷹の邸宅」で、若き編集者(日本少国民文庫』の刊行に携わった人々が出

^{*2…}山本肓ニ「この本と売びみなさしこ。



『三太物語』で著名な青木茂のお話集『智と力 厳密には正確ではない。新潮社には大正九年、 久留島武彦など全五冊) が刊行されていたから 文庫」と称する叢書(山中峯太郎や池田宣政、 けては、西條八十や北原白秋の童謡、トルスト 兄弟の話』があり、また大正末~昭和初年にか 十一月刊行開始)との記述がある。が、これは イやアンデルセンの童話、 は、山本有三編「日本少国民文庫」(昭和十年 、女向きの本を手がけた〉(傍点筆者、 『佐藤義亮伝』(!)には、〈新潮社が初めて少年 さらには「愛国少年 以下同)

もしれない。 社として初の児童書〟であったと言えるのか 下においては、「日本少国民文庫」こそ、新潮 叢書の出版を決断・承諾した佐藤義亮の意識 版でもあつた〉。山本有三から持ちかけられ、 手がけたものであり、誇りを以て世に問うた出 しかし、冒頭の引用には続きがある。〈…を

あった。久米正雄は、 年に渡って編集主任を務めたのが有三で 有三と新潮社の関係は、大正十三年にまで遡 同 社 から『演劇新潮』が創刊されたとき、 雑誌創刊前から有三が緻

> 密な一 編集者としての用意周到さは、こうした経験か 振っていたことに驚いたという。のちの有三の ら確立されたのではなかろうか。 年計画を立て、 各月の予定を既 に割 ŋ

け叢書である。 月) を最終配本にシリーズ完結となった児童向 野源三郎 『君たちはどう生きるか』 (十二年八 り、以後基本的に月に一冊のペースで出版、吉 十年十一月)を第一回配本として刊行開始とな に太陽をもて─胸にひびく話二○編─』(昭 さて、「日本少国民文庫」(全十六巻)は、『心 和

子太郎、 のとなっている。叢書全体を企画・立案し、編 児童文学史上稀有な存在であり、類例のないも さらに昭和三一年には「新編・日本少国民文庫」 ぞれ改訂を加えて版を重ね(全巻構成も変更)、 筆した。昭和十七年及び戦後の二三年にもそれ 恒藤恭、石原純、水上滝太郎、 の周囲にいた吉野源三郎(編集主任)、吉田甲 日に至るまでその一部が読み継がれる日本の (全十二巻) を出版した。 戦前・戦後、 菊池寛、豊島与志雄を助言者に得、 高橋健二、石井桃子らが編集に参加。 里見弴ほかが執 そして今 かつ有三

> 集者を組織してまとめあげたのが山 あった。編集者としての才覚を多分に発揮した 本有三で

けたのである。 という所謂ヤングアダルト世代に向けて発信、 ら青年時代に至るまでの少年や少女たち〉(2) 童話から小説への橋渡しとなる書物として届 その根源的な問いを〈小学児童期を終はる頃か したところであろう。人間いかに生くべきか、 教養といった分野・要素を国際的視野から配 て、広く科学・スポーツ・哲学・倫理・伝記・ するのではなく、人間全般に関する問題につい 叢書の特色および独自性は、 文芸面にのみ偏

じるのである。 ての存在感・影響力の大きさをあらためて感 るを得なかったのに対し、「日本少国民文庫」 ども向け読み物の多くが時局の影響を受けざ いったことを思うとき、有三のエディターとし 童文学への関心を高め、この分野に貢献して に関与した人の多くが、その後直接・間接に児 うところ大であったと言わねばならない。編集 ていた。これは、多くの編集者を抱えながらも、 ナリズムから読者を解放する姿勢で統一され ズムを希求した編集方針を貫き、偏狭なナショ はあくまでリベラルかつ深遠なるヒューマニ |総編集」という役割を担った有三の力量に負 類書がなかったわけではないが、同時期 の子

の高い、 銘にあふれた内容をもっ 義思想の高まりつつあった時代に、 こうして誕生した叢書は、〈良心的で文化性 しかも全体として格調の高い文体、 た企画〉(3)、 国際的視野 〈軍国主

的評価が定着している。先を生きる世代として、 としたこの叢書の功績は高く評価すべき〉(4)、 固な意志が本叢書を誕生させたと言えよう。 有三の子どもへの責務と、 の抵抗精神を象徴するもの〉(5)という高い今日 言論統制が本格化していく情勢において〈時代 に立つヒューマニズムを子どもたちに伝えよう 正義感に貫かれた強

ぞれ取り上げた。 ない存在であった。有三は第八巻『人類の進歩 ていたものの、 載したことである。明治二九年、 き手としては無名だった宮沢賢治の作品を掲 巻『日本名作選』では「オッペルと象」を、 につくした人々』では「雨ニモマケズ」を、 費出版し、 『春と修羅』、 れた賢治は、既に大正十三年には心象スケッチ でもひときわ眼を惹くのが、当時児童文学の書 ところで、本叢書は多くの優れた作家や研究 翻訳者らの作品を世に送り出したが、なか いくつかの雑誌で詩や童話を発表し 童話集『注文の多い料理店』を自 児童文壇ではいまだ定位を持た 岩手にて生ま それ 十六

くした人々』について考えたい。 したのか。有三の編集者としての眼力は、賢治 のどこに注がれたのだろう。『人類の進歩につ なにゆえに、無名ともいえる賢治作品を選択

る (6)。 頁を多く割いたのが力作「リンカー カーン、キューリー夫人、ベートーヴェンの各 伝記を収録したが、三偉人のなかでもとりわけ 和十二年一月に刊行された同書には、 彼らの自由と権利を保障するために終生 この作品では、 奴隷解放のために生涯を ン伝」であ リン

> 視点は、この当時有三が書いた作品にも共通し ませんか〉(8)と問いかけるのである。 当に生きがひのあることだとはお思ひになり はなく、 こそ人類の進歩につくした人であり、 ところにその素晴らしさがあったと力説し、 尽力した人物としてリンカーンが描かれた。 て見られる。 な宿題のために働こうと考へて生きて来た〉⑺ 〈リンカーンと同じやうに、 の幸福のためよりは、 の目標を世間的な成功におかず 世の中の進歩のために働くことが、本 自分たちの時代の大き 自分一人のためで こうした へ、自分一 読者に 彼

ムであり、 れは軍事色が濃厚になり、 を基軸とした人物伝に意欲的に取り組んだ。 いかに貢献したかという視点であり、 のは人類のためにいかに生きたか、 年一~三月)にしろ、その根底を脈々と流 た一つの倫理であった。 して書かずにはいられなかったヒューマニズ われていくなかでの、 月~三月) にしろ「ストウ夫人」(同前、 「はにかみやのクララ」(『主婦之友』十二年 時勢に抗うなかで打ち立てようとし 有三が良心的な文学者と 厳しい言論統制が行 その進歩に 彼はそれ 十三 れる

うか ての賢治像である。 アップされるのは東北農民の貧困をいかに救 三の編集基準に照らして考えたとき、 雨ニモマケズ」収録へと向かわせたのでは 賢治の「雨ニモマケズ」収録につい ではないが、当時の賢治受容の一 か。文学に生きた詩人・童話作家としての賢 に終生尽力した農民科学者・実践者とし こうした賢治への 面 クローズ が垣 ても、 共感 蕳 な 有

えるようで興味深い。

ことなく厳しく素材を吟味したとされる。 賢治受容に少なくない影響を持つことになる できる。以上の有三の視線はこの後、 ところにも有三の確かな先見性をみることが 著としての「日本少国民文庫」を結実させたわ 者としての才覚や慧眼が、児童出版史に残る名 である。 であるが、その編集過程で賢治へ行き着いた 篇の詩や雑文に至るまで、有三は妥協する 戦時下の

1 天野雅司編『佐藤義亮伝』(昭和二八年八月、 ※佐藤義亮は新潮社の創業者で、本書は佐藤の評伝である。

注

2

- 吉田甲子太郎「日本少国民文庫が生まれるまで」(『書窓』 一 昭和十一年一月、アオイ書房)
- 3 鳥越信『日本児童文学案内』(昭和三八年八月、理論社)
- 日本児童文学学会編『日本児童文学概論』(昭和五一年四月、東京書籍: 執筆西田良子)
- 6 5 本作は山本有三著となっているが、実際には吉野源三郎の筆であった 菅忠道『日本の児童文学 増補改訂版』(昭和四一年五月、 稿チェックまで入念に行っており、叢書にかかるすべての最終決定を ことがわかっている。しかし、編集者として有三は素材の選択から草
- 7 8 山本有三『人類の進歩につくした人々』(昭和十二年一月、 新潮社)

遠藤 純 (えんどう じゅん)

童文化と子ども文化』(港の人 2012年)など。 史。編著『日本児童文学文献目録』(日外アソシエーツ 2019年)、 『藤子・F・不二雄大全集(ぴーたーぱん』(小学館(2013年)、『児 - 9 6 8 年京都市生まれ。武庫川女子大学准教授。専門は児童文化



コラム 山本有三と吉野源三郎

᠋ᡥ᠋ᠵᡈᠵᢚᡳ᠋᠊ᡈᠵᢚᡳᡶᠣᠵᢚᡳᡶᢦᠵᢚᡳᡶᢦᠵᢚᡳᡶᢦᠵᢚᡳᢣᠣᠵᢚᡳᢣᢦᠵᢚᡳᢣᢦᠵᢚᡳᢣᢦᢣᢚᡳᡈᠵᡥᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳᡈᠵᢚᡳ

次代を担う子どもたちのために新しい本を、という有三の想いから企画された『日本少国民文庫』ですが、その背景にはもう一つ企図されていたことがあります。それは、当時失職中であった吉野源三郎 [1899-1981] に仕事を与える、ということでした。

昭和6 (1931) 年、吉野は、治安維持法に抵触したことによって逮捕され、一年半ほどの間、投獄されています。その影響から出獄した後も勤め先を得られず、くすぶっていたのを見かねて、有三は、吉野に『日本少国民文庫』編集の仕事を持ち掛けたのでした。

当初は、子ども向けの読み物のために二年余りの歳月を割く気になれず、引き受けようとしなかった吉野でしたが、有三の説得を受けて、文庫の発刊に携わることとなります。

編集主任としてまとめ役を務めるとともに、『日本少国民文庫』第五巻、「君たちはどう生きるか」の執筆を手掛けました。哲学を学んだ吉野ならではの、人生をいかに生きるべきかを問いかけたこの作品は、当時の少年少女たちに深い感銘を与え、また、近年においても漫画化されて再注目を果たした息の長い作品となっています。



吉野源三郎「君たちはどう生きるか」 (『日本少国民文庫』第5巻 新潮社 昭和12年)

『日本少国民文庫』の編集として働いたことがきっかけとなり、吉野は昭和12年から岩波書店に勤め、岩波新書の創刊や雑誌「世界」の編集に携わりながら、編集者として後半生を送りました。戦中から戦後にかけて、親しく往来する機会こそ途絶えましたが、有三の亡くなった後も、吉野は「常識では考えられないほどの無償の好意を私に注いで下さった」(山本有三全集第10巻付録「山本さんと私」新潮社昭和52年)と、有三から受けた厚情について振り返っています。

事業報告



▶令和2年1月18日(土)~26日(日)開催

第6回三鷹市山本有三記念館 スケッチコンテスト

三鷹ゆかりの作家、山本有三の旧居であり、市有形文化財でもある建物の魅力と、「文化の薫り高い三鷹」を広く発信することを目的として開催しているスケッチコンテスト。第6回目を数える今回は、市内外から71点のご応募があり、公会堂さんさん館にて開催されたコンテストには、多くの皆様にご来場・ご投票いただきました。応募作品は、いずれも個性豊かな作品ばかり。来場者からは「同じ建物や風景でも表現の違いが毎年新鮮」、「力作ぞろいで感動した」といった感想が多数寄せられ

受賞作品は2月4日(火)から3月8日(日)まで山本有三記念館内で展示しました。 ご来館の皆様が足を止めて作品に見入る姿がとても印象的でした。





新型コロナウイルス感染症対策のため、ガイドボランティアの 実施と団体見学の受付は、当面休止します。

編集・発行

ました。

三鷹市山本有三記念館

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 2-12-27 TEL 0422-42-6233

ホームページ

http://mitaka-sportsandculture.or.jp/yuzo/

開館時間:午前9時30分~午後5時

入館料:300円(20名以上の団体200円)

・中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭、

「東京・ミュージアムぐるっとパス 2020」利用者は無料 ※受付にて「年間パスポート(1,000円)」を販売しております。

アクセス:JR中央線「三鷹駅」南口より徒歩12分、

JR 中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」南口(公園口)より徒歩 20 分